



市川さんがHappyノート
をイメージして製作して下さった
シュガークラフト。季節が冬から春へ移り
変わるようすが見事に表現されています。

IHなら
ガスと違い油跳ねが少なく
掃除がラク。だからオープンなキッチン
が可能に。対面式に比べてスペース
効率がよく、より大きなダイニングテ
ーブルを置くこともできたといいます。

**油跳ねが少なく掃除も
ラクだから、キッチンが
丸見えでもだいじょうぶ**

キッチンのスタイルはご家庭によっ
てさまざまですが、大まかに2つのタ
イプに分けられます。ひとつは部屋の
ように独立しているタイプ。もうひとつ
は、ダイニングなどに対して開かれ
たタイプ。それぞれにメリット、デメ
リットがあります。まず、独立型の利
点は油跳ねや調理の音などがダイニン
グやリビングに影響を及ぼさないこと。
しかし、空間が分断されがちなので、
家族の顔が見えず孤独を感じるという
一面も。一方、オープンスタイルのメ
リットは家族と向き合えたり、みんな
で調理や片付けに参加しやすいこと。
ところが油跳ねなどの課題や、キッ
チンが丸見えになるので片付けに気を使
う必要があるのも事実です。

神奈川県市川さんはオープンキッ

**IHならオープンキッチンが
つくりやすく
みんなでワイワイ料理が楽しめる**

**LDKはのびのび、
お友だちも気兼ねなく
キッチンに入れる**

開放的なキッチンのおかげで、お友
だちも呼びやすくなったそう。取材当
日集まってくれたのは、市川さんがこ
近所や児童館などでお知り合いになっ
たというママ友たち。「お友だちをお
呼びするときはお料理を持ち寄った
り、わが家で作ってもらったりする
んですが、このキッチンで正解。ダイ



IHクッキングヒーターへの
関心度の高さは、この取材で
も確認できました。火のない
安心な調理器具に、みなさん
興味津々です。熱の立ち上が
りの早さや火力の強さなどに
誰もが感心していました。IH
は炒める、煮る、焼く、蒸
すなどさまざまな調理の理想
的な温度をかんたんに設定で
きるとか。料理のレパートリ
ーが広がりそう。



ニングの一部という感じで、みなさん
に遠慮なく立ってもらえるんです」。
確かに訪ねたお宅のキッチンが独立型
だとちょっと入るのをためらいがち
でも、オープンキッチンならかしこま
らず自然に参加できます。

今日は食卓にいろいろな料理が並び
ました。山の幸パエリア、ニヨッキ、お
米のピザ、トリの丸焼きなど。「山の幸
パエリアは華やかでボリュームがあつ
てパーティーにぴったり。それにIH
だと簡単にできるんですよ」。みなさ
んもIHクッキングヒーターには興味
津々。パエリアを題材に市川さん
のプーチンH教室が始まりました。

大まかに実況中継するとこんな
感じです。まずは、鶏肉とベ
ーコンを炒めることからスター
ト。フライパンを載せてIHの
スイッチを押すと、火が出る代わりに
電源が入ったことを知らせる赤いサイ
ンが点灯。温度はボタンで設定します。
「ほら、レシビをフライパンのすぐ脇
に置いて焦げませんよ。みなさん、
炎が出ないからできる裏ワザに感心。
「火を使わないけど火力は充分でし

神奈川県市川葉子さんと時乃心
くん（2歳）。お子さまの誕生を機
に新築を計画され、パティオとオ
ープンキッチンのあるわが家を実
現されました。また、市川さんは
シュガークラフトのプロフェッシ
ョナル。ご自宅の一室を仕事場にも
活用されています。



チンのよさを活かしつつ、デメリットを
克服した理想のキッチンを実現してい
ました。それをかなえたのが、IHクッ
キングヒーターだといいます。「私はパ
ティオを設け、家中が明るくなる住ま
いを望みました。でも、そうするとLD
Kのスペースがやや狭くなるんです
ね。そこに独立型のキッチンを設置
ると窮屈になる。オープンキッチンに
すると、やっぱり油跳ねは気になるし...」。
そんなとき市川さんはCMでIHクッ
キングヒーターのことを知り、TEPC
O銀座館に足を運んだそうです。「説明
を受けて納得。ガスの場合、炎から出る
水蒸気や強い上昇気流が油を巻き込ん
で換気扇を汚したり、部屋に油を飛ば
してしまふ。でも、IHだと炎がないから
それがすく少ない。多少周りに飛んで
も、IHはトッププレートがフラットだ
からサッと掃除できる。それでいてガ
スに負けないハイパワーで、光熱費も安
くなる。オール電化にしてオープンキッ
チンにすればうまくいくと思いました」。

よ」。鶏肉とベーコンがささっと炒め
上がりました。そして、ママたちがう
らやましがったのが、最後の仕上げ段
階。7〜8分弱火で煮込むのですが、
ここはもうタイマーにお任せです。
「火を使わないから、この場を離れ他
の用を済ませてほしいようぶ」。み
なさん、安全で便利な機能に感心、納
得されていました。

市川さんは「ガスでパエリアを調理
していたときは、よくこびりついて
でも、熱がまんべんなくまわるIHな
らだいじょうぶ」とうれしそう。使っ
ていたフライパンはステンレス製でし
たが焦げ付いていません。キッチンは
3人くらいのママが同時に立つても
仕事を分担できて、使いやすそうでし
た。市川さんが調理を終えるたびに、
まるでテーブルを拭くような気軽さで
IHクッキングヒーターを掃除してい
るのも、印象的でした。



左/夜間エコキュートでお
トクに沸かしたお湯はお風呂
だけでなく、食器洗い乾燥機
にも使うことができます。
上/生ゴミを減らして肥料に
できる生ゴミ処理機も活用。





以前「オール電化住宅は一戸建てだけのこと」と勘違いしていた根津さん。現在お住まいのマンションの分譲広告を見て、オール電化マンションの存在を知りました。「実物を使ったデモンストレーションで理解するのが一番」。ご夫妻はモデルルームや渋谷の電力館で、そのことを実感したといっています。

電気代が高いと誤解していたご主人も、自分で確かめて納得したという

オール電化住宅というと、一戸建てのイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか。そこで、オール電化のマンションを訪ね、ハッピーライフ取材してみました。お話をうかがった根津さんご夫妻も、以前はオール電化を「存知だったものの、自分たちとは別世界の話だと思っていたそうです。」

「それに電気代がすごく高いと思っていたんですね。でも、そうではないことを、オール電化マンションのモデルルームで知りました」とご主人。一方、奥さまは初めから安全性や便利さに惹かれていたといっています。第一子のご出産を控えての新居探しだったのでなおさらだったとか。「渋谷の電力館にも足を運びました。IHクッキングヒーターやエコキュート、床暖房、それにおトクな電気料金メニューなど、これまで知らなかったことがよくわか

って。IHは実

際に見て触ってみるといいですね。無料の体験クッキングなどもあるんですよ。」

「ご主人は初めに抱いていたバッドイメージからグッドイメージに転換。奥さまは、想像以上に経済的であることや大切な環境を守ることもつながると感じたそうです。」

自然な暖かさの床暖房や火を使わないIHは母にも子にもやさしい

根津さんのマンションは、リビングが明るく広々と感じられました。それは、大きな窓やナチュラルなインテリアカラーの効果だけではありません。ソファを置いていないことが開放感につながっているようです。床暖房のメリットを活かし、ソファではなく

根津さんご夫妻。ご主人は「将来を考えたら住まいはバリアフリーがいい。毎月のことだから光熱費はなるべく抑えたい」と、お若くても堅実なお考えの持ち主。奥さまは「子育てを考えたら安全が第一」と。オール電化住宅はお二人にとって理想的なようです。



火を使わないIHの安心感やエコキュートの経済性は、お友だちにうらやましがられているそう。

もうすぐ生まれてくる赤ちゃんのためにも ぽかぽかで家計にやさしいマンションを



右側がエコキュートのヒートポンプユニット。夜間のおトクな電気でお湯を沸かします。左がお湯を貯めて保温するタンク。

も立たないし、床から自然な暖かさが伝わる床暖房は、デリケートな赤ちゃんにもやさしいシステムだと思えました」と奥さま。

また、奥さまは「IHはいいこといっぱい」とうれしそう。「火を使わないから付きっきりでなくても、タイマーで煮物や焼き魚などが出来上がるんです。その間、リビングで休んでいられてラク。妊婦にやさしいと実感しました」。料理のレパートリーも増えたそうです。「揚げ物は実家で暮らしているときもあまりやらず、買ってくるものという認識でした。でも、IHなら私でも簡単、上手にできます。マンションに越してすぐに揚げ出し豆腐をついたら、主人にすごく喜ばれたんですよ。掃除がラクなことも、助かると思います。たとえば、天ぷら鍋に新聞紙でふたをすれば油跳ねや水蒸気が飛びのを防げ、換気扇のフィルターが汚れなくて助かっているそう。油が跳ねてもトッププレートがフラットなので簡単に掃除できてラクだとか。



IHは揚げ油の温度管理を自動でしてくれるので、天ぷらが得意料理になったとか。

油跳ねが少なく換気扇もトッププレートも汚れにくいそうです。掃除もラクラク。



なんと、一人暮らしの友人宅より光熱費が安く環境保全にも貢献できる

ちょうどお友だちが遊びにいらしていたので感想をうかがうと、みなさんうらやましそうです。特に光熱費には驚いたようです。ちなみに根津家の12月の電気代は8000円ほど。特別暖房を我慢しているわけではなく、床暖房やエアコンも使ってこの金額はとても経済的と感じました。お友だちのひとりには「一人暮らしの電気代十ガスタ代よりも安い」と感心。

根津さんご夫妻は節約やエコ意識が芽生えたことも収穫だといっています。「東京電力のサイトで電力使用量などを入力すると、CO2排出量がわかるコーナーがあるんです。今月も電気やCO2を減らしてよかったと思うようになりました」。環境保全は、子どもたちの未来に関わること。編集部も大切なことだと思いました。



真冬でも床に寝転んでリラックスできるのは、床暖房の自然な暖かさがあるから。現在妊娠中の奥さまも、足腰が冷えなくていいといっています。これから赤ちゃんのお世話をするのにも床暖房が頼もしい味方になってくれることでしょう。

「床暖房はリビングとダイニングに設置しています。いいなと思ったのは暖房の範囲が4ブロックに分かれていること。食事をしているとき、リビングでくつろいでいるときと、長い場所だけをセットできるので、節電にもつながります」とご主人。「ホコリ

ラグを敷いて床にのんびりくつろぐ。そのリラクゼーションスタイルが、心地よさに加え、空間の広がりをもたらしつつあります。」